

第1学年 国語科学習指導案

日時 令和4年2月9日(水)5校時

対象 第1学年1組 22名

2組 27名

3組 23名

授業者 1組 岡村 瑠璃

2組 前川 裕希

3組 井門 千洋

研究主題

主体的に学び合い、豊かに表現する児童の育成
～適切な言語活動を通じた授業改善を目指して～

低学年分科会の目指す児童像

「言葉に着目し、自分の思いや考えをもち、伝え合おうとする児童」

- 1 単元名 「くらべてよもう～どうぶつの赤ちゃんずかんをつくろう～」
教材名 「どうぶつの 赤ちゃん」(光村図書 第1学年下巻) 筆者 ますい みつこ

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- ・ 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 【知－(2)ア】
- ・ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 【知－(3)エ】
- ・ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 【思C－(1)ウ】
- ・ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。 【思C－(1)ア】
- ・ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。 【思C－(1)カ】
- ・ 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。 【主】

(2) 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。【知－(2)ア】	① 「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。【思C－(1)ア】	① 学習の見通しをもち、文章の内容を比べながら読むことで、粘り強く本から得たことを友達に知らせようとしている。
② 読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。【知－(3)エ】	② 「読むこと」において文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。【思C－(1)ウ】	
	③ 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。【思C－(1)カ】	

3 本単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語編 第1学年及び第2学年に記載されている次のことを扱っている。【学習指導要領から抜粋】

[知識及び技能]

(2) ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

(3) エ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。

[思考力、判断力、表現力等] C 読むこと

(1) ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。

カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。

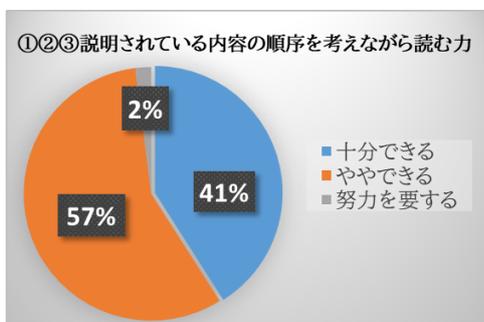
本単元で児童に身に付けさせたい力は、以下の4つである。

- ① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する力
- ② 文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力
- ③ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える力
- ④ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有する力

上記を身に付けるために、本単元は、「どうぶつの赤ちゃんずかんをつくろう」という学習課題を立てた。今年度は、低学年の目指す児童像を達成するために、重要な語や文を選びながら読み取り、分かったことを伝え合うことができることに重点を置いて指導していく。説明的文章の単元「うみのかくれんぼ」「じどう車くらべ」で、読み取ったことを観点ごとに線を引いたり色分けをしたりして、視覚的に整理をしながら読み取る活動を行ってきた。このことを踏まえ、本単元では、文章を読んで分かったことを観点ごとに書き抜き、図鑑にまとめる活動を行う。

相手の考えを理解したり自分の思いや考えを表現したりするためには、話や文章の中に含まれている情報と情報とがどのように結び付いているのかを捉え、整理することが必要となる。そのため、重要な語や文を考えて選び出し、事柄同士の共通点や相違点を見つけることや、時間的な順序や事柄の順序を考えることが大切である。本単元では、本文を観点別に整理しながら読み、読み取った事柄を比べる活動を通して、児童が4つの力を身に付けることができるよう指導していく。

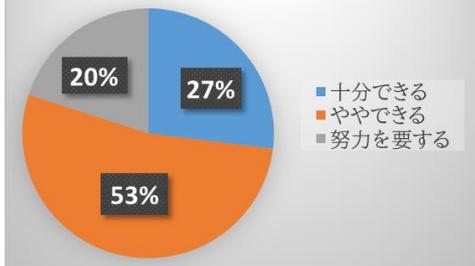
(2) 児童観



「じどう車くらべ」の学習を終えた段階で、本単元で身に付けさせたい力について調査を行った。（対象者：68名）

説明的文章を読んで、事柄の順序などを考えながら、情報と情報との関係について理解し、重要な語や文を考えて選び出す力については、左記の通り「十分できる」「概ねできる」という結果が多く見られた。しかし、バスや乗用車とトラックの説明を読み、トラックの造りについての設問でバスや乗用車の造りを回答してしまうなど、読み取りが不十分であったり、思い込みや勘違い等で内容を捉えたりして

④文章を読んで感じたことや分かったことを共有する力



いる児童が半数程度見られた。説明されている内容の共通、相違を比較しながら読む本単元では、情報と情報との関係について、丁寧に考えさせていく必要がある。

文章を読んで感じたことや分かったことを共有する力については、左記の通り「概ねできる」という結果が見られた。しかし、外国籍の児童も多く、読み取った文章から必要な情報を抜き出してまとめたり、自力で自分の考えを表現したりする力については、支援の必要な児童が多く見られた。このことから、文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力や、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、説明されている内容を確実に捉える力の育成を目指していきたい。

(3) 教材観

本教材は、問題提起→事例①ライオン→事例②しまうま、という構成になっている。それぞれの動物の赤ちゃんの様子は、「生まれたばかりの様子」と、「大きくなっていく様子」とにも分けられる。それぞれの様子について、前者では「生まれたときの大きさ」「目や耳の様子」「親の姿との比較」「移動能力」、後者では「お乳を飲む期間」「自分で食べ物をとって食べる期間」といった同じ観点を比較しながら読むことができるようになっている。説明の観点が揃っていることで、前に学習した方法と同じ方法で読み取りを進めることができ、比較しやすくなっている。

(4) 学習材の分析

<どうぶつの赤ちゃん>

《問い》

- ①生まれたばかりのときは、どんな様子をしているのでしょうか。
- ②どのようにして、大きくなっていくのでしょうか。

《構成》

問題提起→ライオンの赤ちゃん→しまうまの赤ちゃん→カンガルーの赤ちゃん

《説明の順序》

- (1) 生まれたときの大きさ (2) 目や耳の様子 (3) 親の姿との比較 (4) 移動能力
- (5) お乳を飲む期間 (6) 自分で食べ物をとって食べる時期

⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
問い②に対する事例②	問い①に対する事例②		問い②に対する事例①	問い①に対する事例①		問題提起	段落の役割
しまうまの赤ちゃんのお乳を飲む期間、自分で食べ物を捕って食べる時期	しまうまの赤ちゃんの移動能力		ライオンの赤ちゃんのお乳を飲む期間、自分で食べ物を捕って食べる時期	ライオンの赤ちゃんの移動能力	ライオンの赤ちゃんの生まれたときの大きさ、目や耳の様子	② ①どうぶつの赤ちゃんの生まれたばかりの様子 ②どうぶつの赤ちゃんがどのように大きくなっていくか	段落の内容
おかあさんのおちちだけのんでいるのは、たった七日ぐらいのあいだ そのあとは、おちちのみですが、じぶんで草もたべるようになります。	生まれて三十ぶんもたたないうちに、じぶんで立ち上がります。 つぎの日には、はしるようになります。		生まれたときに、もうやぎぐらいの大きさ目はあるいて、耳もぴんと立っています。 おかあさんにそっくり	生まれて二か月ぐらいは、おちちだけのんでいますが、やがて、おかあさんのとつたえものをたべはじめます。 一年ぐらいたつと、おかあさんやなかまがするのを見て、えものとりかたをおぼえます。	じぶんではあるくことができませぬ。 よそへいくときは、おかあさんに口にくわえてはこんでもらう	生まれたときは、子ねぐぐらいの大きさ目や耳は、とじたまま おかあさんにあまりにいていません。	着目させたい言葉・文

4 研究主題に迫るための手立て

○ ICT 機器の活用

本単元では、児童が主体的に学び合う姿として、観点をもとに文章から読み取ったことを整理することができる児童の育成を目指す。そのために、簡単に色別の線を引くことができるタブレット端末を活用する。デジタル教科書を用いて、重要な語を選んで観点別に色分けして線を引いたり、視覚的に整理したりしやすくする。

○ 振り返りの充実

本時のねらいに沿って、毎時間、自分でめあてを設定し、振り返りを行う。児童が「よくできた」「できた」「次はがんばりたい」の3観点で自己評価したり、分かったことなどを自由に記述したりできるようにし、学習の積み重ねを実感できるようにする。

○ 意見をもつためのカードの工夫

本単元では、豊かに表現する児童の姿として、読み取ったことをもとに、分かったことを伝え合おうとする児童の育成を目指す。そのために、文章から読み取ったことを同じワークシートにまとめる活動を行うことで、読み取ったことを比べやすくする。観点を整理することで読み取ったことを比較しやすくなることよき気づき、進んで教材を読み取ろうとする児童の育成を目指す。

○ 対話活動の充実

(1) 「4つの対話」による意図的な対話活動

「4つの対話（「作品との対話」「教師との対話」「自分自身との対話」「友達との対話）」を意図的に単元の中に展開していく際に、対話の目的や対話活動における視点を教師側から提示したり教師と児童で考えたりする。目的や視点を明確にすることで、振り返ったときに、児童自身が対話活動後の成果が分かるようにしていきたい。

(2) 学習形態の工夫

ペアでの学習を意図的に取り入れ、自分と友達の意見を比べたり、友達の考えのよさを見つめたりすることを通して、児童が進んで考えを伝え合うことができるようにする。

○ 語彙を豊かにする日常活動

年間を通して設定されている「たのしいな ことばあそび」の単元や、ぐんぐんタイム、家庭学習での文作りの活動などを通して、語彙を増やし、適切に使えるようにする。

○ 学習意欲を高めるための生活科との関連

1月に、上野動物園のオンライン学習プログラムに参加し、動物の赤ちゃんをオンラインで見学機会を設けることで、児童が「もっと動物の赤ちゃんについて知りたい」という意欲を高めることに繋がった。

5 単元計画と評価計画（全10時間）

次	時	目標	学習内容	◆評価規準【評価方法】 ・留意点☆支援
1	1	「どうぶつの赤ちゃん」を読んで、初めて知ったこと、もっと知りたいことなどを出し合い、学習の見通しをもつことができる。	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「どうぶつの赤ちゃん」をよんで、おもったことをつたえあおう。</div> <p>2 「どうぶつの赤ちゃん」を読み、初めて知ったことや不思議だと思ったことなどを書く。</p> <p>3 感想を伝え合う。</p> <p>4 学習課題を確かめる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">くらべてよもう～「どうぶつの赤ちゃんずかん」をつくろう～</div> <p>5 本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。</p>	<p>◆イ-① 「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。</p> <p>◆イ-② 「読むこと」において文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。</p> <p>◆イ-③ 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>
2	2	「どうぶつの赤ちゃん」を読み、問いの文を見つけることができる。	<p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 「説明文には問いと答えがある」という既習事項を確かめ、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「とい」の文をみつけよう。</div> <p>3 本文から問いの文を探し、ワークシートに書き抜く。</p> <p>4 全体で共有し、問いの文を確かめる。</p> <p>5 本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。</p>	<p>☆自分の思いを表現するのが難しい児童には、話型などを示す。 ・「～でしょう。」という問いかけを表す言葉に着目させる。 ・問いが2つ提起されていることを押さえる。</p>
	3	ライオンの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を読み取ることができる。	<p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ライオンの赤ちゃんの生まれたばかりのようすをよみとろう。</div> <p>3 デジタル教科書から、生まれたばかりの様子が書いてある文を探し、線を引く。</p> <p>4 ペアから全体の順で共有する。</p> <p>5 観点を確認する。</p> <p>6 表にまとめる。</p> <p>7 本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。</p>	<p>・生まれたばかりの様子が分かる文に赤線を引かせる。 ・キーワード「大きさ」「目」「耳」「おかあさんに」「あるく」に印をつけさせる。</p>
	4	しまうまの赤	<p>1 前時の振り返りを共有する。</p>	

	<p>ちゃんの生まれたばかりの様子を読み取ることができる。</p>	<p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりのようすをよみとろう。</p> </div> <p>3 デジタル教科書から、生まれたばかりの様子が書いてある文を探し、線を引く。</p> <p>4 ペアから全体の順で共有する。</p> <p>5 表にまとめる。</p> <p>6 本時の学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で確認した「大きさ」「目や耳」「おやとくらべて」「いどうのしかた」の観点を再度確認する。 ・生まれたばかりの様子が書いてある部分に赤線を引かせる。
5 本時 (1組)	<p>ライオンとしまうまの赤ちゃんの、大きくなっていく様子を読み取ることができる。</p>	<p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ライオンとしまうまの赤ちゃんの、大きくなっていくようすをよみとろう。</p> </div> <p>3 デジタル教科書から、大きくなっていく様子が書いてある文を探し、線を引く。</p> <p>4 ペアから全体の順で共有する。</p> <p>5 観点を確認する。</p> <p>6 本時の学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワード「おちち」「たべる」に印をつけさせる。 ・大きくなっていく様子が書いてある部分に青線を引かせる。
6 本時 (2組)	<p>ライオンとしまうまの赤ちゃんの、生まれたばかりの様子、大きくなっていく様子を比べて読むことができる。</p>	<p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ライオンとしまうまの赤ちゃんの、生まれたばかりのようす、大きくなっていくようすをくらべよう。</p> </div> <p>3 前時に読み取ったライオンとしまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子を表にまとめる。</p> <p>4 ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を比べる。</p> <p>5 ペアから全体の順で共有し、比べて気付いたことや分かったことを伝え合う。</p> <p>6 本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。</p>	<p>◆ア-①</p> <p>共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの観点において、「おなじ」「にている」「ちがう」を比べることができるように助言する。 <p>☆読み取りが十分でない児童には、キーワードのみを穴埋めできるワークシートを用意する。</p>

	7 本時 (3組)	ライオンとしまうまの赤ちゃんと、カンガルーの赤ちゃんを比べて読むことができる。	<p>1 前時の振り返りを共有し、これまでに学習した観点を確認する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="507 309 1109 436" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> カンガルーの赤ちゃんと、ライオンやしまうまの赤ちゃんのようにすをくらべよう。 </div> <p>3 カンガルーの赤ちゃんについての資料を読む。</p> <p>4 6つの観点到に線を引く。</p> <p>①生まれたときの大きさ</p> <p>②目や耳の様子</p> <p>③親の姿との比較</p> <p>④移動能力</p> <p>⑤お乳を飲む期間</p> <p>⑥自分で食べものをもって食べる時期</p> <p>5 カンガルーの赤ちゃんにとライオン、しまうまの赤ちゃんを比べて、似ているところを探す。</p> <p>6 比べて分かったことや気付いたことを、ペアから全体の順で共有する。</p> <p>7 本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。</p>	<p>◆ア-①</p> <p>共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。【デジタル教科書、ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライオン、しまうまで確認した観点を再度確認する。 ・ライオン、しまうまの時と同様に、「生まれたばかりの様子」が書いてある部分は赤線、「大きくなっていく様子」が書いてある部分は青線を引かせる。 <p>☆読み取りが十分でない児童には、「目」「耳」「おちち」「草」など、観点が分かる言葉を示し、必要な文章を探せるように支援する。</p>
3	8	動物の赤ちゃんについて、知りたいことを調べ、必要な言葉や文を書き抜いて、まとめることができる。	<p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="507 1317 1109 1444" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> どうぶつの赤ちゃんの生まれたばかりのようす、大きくなっていくようすをしらべよう。 </div> <p>3 関連図書で、調べたい動物の赤ちゃんについて調べ、必要な言葉や文をワークシートに書き抜く。</p> <p>4 本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。</p>	<p>◆ア-②</p> <p>読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。【活動の様子】</p> <p>◆イ-①</p> <p>「読むこと」において文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも、本文で学習した観点が書いてあるわけではないことを知らせる。 ・本で調べて分かった観点のみ書き抜くことを伝える。 <p>☆おおむね読み取ることができる児童、読み取りが十分できる児童には、調べた動物の赤ちゃんと、ライオンやしまうまの赤ちゃんを比べさせる。</p>

9	動物の赤ちゃんについて調べたことを基に、絵と文でまとめることができる。	<p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="507 257 1109 369" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どうぶつの赤ちゃんについてしらべたことをまとめよう。</p> </div> <p>3 前時に調べて分かったことを、カードに絵と文でまとめる。</p> <p>4 本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。</p>	<p>◆ウ-① 学習の見通しをもち、文章の内容を比べながら読むことで、本から得たことを友達に知らせようとしている。【活動の様子、カード】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文でまとめる際の話型を示す。 <div data-bbox="1141 459 1428 660" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〇〇の赤ちゃんは、（〔ライオン/しまうま〕の赤ちゃんと〔おなじで/にいて/ちがって〕、）〇〇〇〇です。</p> </div>
10	調べた動物の赤ちゃんについて、友達と伝え合うことができる。	<p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="507 784 1109 896" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どうぶつの赤ちゃんについてしらべたことを、ともだちとつたえあおう。</p> </div> <p>3 グループで、前時までのカードを見せ合いながら、調べた動物の赤ちゃんのことで伝え合う。</p> <p>4 自分が調べた動物の赤ちゃん、他の動物の赤ちゃんとを比べる。</p> <p>5 本時の学習の振り返りをし、単元全体を振り返る。</p>	<p>◆イ-③ 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。【活動の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し方、聞き方について確認する。 自分の調べた動物の赤ちゃん、他の動物の赤ちゃんについて、「おなじ」「にいて」「ちがう」を比べられるようにする。

6 本時の展開

1組(5/10)

(1) ねらい

ライオンとしまの赤ちゃんの、大きくなっていく様子を読み取ることができる。

(2) 本時の展開

時間	学習内容	・指導事項 ◎豊かな表現を 見取る視点	◆評価規準 ☆支援 ・指導上の留意点
導入	1 前時の振り返りを共有する。 2 本時のめあてを確認する。 ライオンとしまの赤ちゃんの、大きくなっていくようすをよみとろう。		
展開	3 デジタル教科書から、大きくなっていく様子を書いてある文を探し、線を引く。 4 ペアから全体の順で共有する。 5 観点を確認する。 T 大きくなっていく様子には、どんなことが書いてありましたか。 C 生まれてからどのくらいの間お乳を飲むか。 C いつから自分で餌を取って食べるか。	・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 【思C-(1)ア】 ・文章の中の大事な語や文を考えて選び出すこと。 【思C-(1)ウ】 ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 【思C-(1)カ】 ◎ライオンとしまの赤ちゃんについて読み取ったことを比べ、共通、相違などに気付いているか。	◆イ-③ 「読むこと」において文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。【デジタル教科書】 ・キーワード「おちち」「たべる」に印をつける。 ・大きくなっていく様子を書いてある部分に青線を引く。 ☆読み取りが十分でない児童には、赤ちゃんが生まれてからの変化が分かる言葉に着目させ、必要な文章を探せるように支援する。
まとめ	6 本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。		「考えたこと」 「分かったこと」

(3) 授業観察の視点

- デジタル教科書に線を引く活動は、簡単に色別の線を引いて観点別に色分けしたり、視覚的に整理しやすくしたりする手立てとなっていたか。

6 本時の展開

2組 (6/10)

(1) ねらい

ライオンとしまうまの赤ちゃんの、生まれたばかりの様子、大きくなっていく様子を比べて読むことができる。

(2) 本時の展開

時間	学習内容	・指導事項 ◎豊かな表現を見取る視点	◆評価規準 ☆支援 ・指導上の留意点
導入	1 前時の振り返りを共有する。 2 本時のめあてを確認する。		
ライオンとしまうまの赤ちゃんの、生まれたばかりのようす、大きくなっていくようすをくらべよう。			
展開	3 前時に読み取ったライオンとしまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子を表にまとめる。 4 ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を比べる。 5 ペアから全体の順で共有し、比べて気付いたことを伝え合う。 T ライオンとしまうまの赤ちゃんと比べて、同じところや違うところがありましたか。 C しまうまの赤ちゃんは、ライオンの赤ちゃんと違って、生まれて30分もたたないうちに自分で立ち上がることができます。 C ライオンの赤ちゃんは、しまうまの赤ちゃんとは違って、生まれたときに目や耳は閉じたままです。	・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 【思C-(1)ア】 ・文章の中の大事な語や文を考えて選び出すこと。 【思C-(1)ウ】 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 【知-(2)ア】 ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 【思C-(1)カ】 ◎ライオンとしまうまの赤ちゃんについて読み取ったことを比べ、共通、相違などに気付いているか。	◆ア-① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。【教科書、ワークシート】 ・それぞれの観点について、「おなじ」「にている」「ちがう」を比べることができるようにする。 ・話型を示し、共有しやすくする。
まとめ	6 本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。		「考えたこと」 「分かったこと」

(3) 授業観察の視点

- ・読み取ったことを表にまとめる活動は、読み取ったことを比べる手立てになっていたか。
- ・話型を用いたペア学習は、考えを伝え合う手立てになっていたか。

(4) 板書計画

くらべてよもう　くどうぶつの赤ちゃんをつくらう
 どうぶつの赤ちゃん　ますい　みつこ　文
 つきもと　かよみ　え

ライオンとしまうまの赤ちゃんの、生まれたばかりの
 ようすと、大きくなっていくようすをくらべよう。

大きくなっていくようす:		生まれたばかりのようす:				と
たべもの	おちちを のむ きかん	いどうの しかた	おやど くらべて	目や耳	大きさ	て
おかあさんのとった えものをたべはじめま す。	生まれて二か月ぐらい	じぶんではあるくこと が できません。	おかあさんに あまりにいていません。	とじたまま	生まれたときは、 子ねこくぐらいの大きさ	ライオン
ちがう	ちがう	ちがう	ちがう	ちがう	ちがう	くらべて
じぶんで草もたべるようにな ります。	おちちだけのんでいるのは、 たった七日ぐらいのあいだ	生まれて三十ぶんもたな いうちに、じぶんで立ち上 がります。	おかあさんにそっくり	目はあいていて、耳も びんと立っています。	生まれたときに、もう やぎぐらいの大きさ	しまうま

(ライオン) (しまうま) の赤ちゃんは、
 (ライオン)
 (しまうま) と (おなじで)
 (にいて)
 (ちがって) ○○○○です。

6 本時の展開

3組 (7/10)

(1) ねらい

ライオンとしまうまの赤ちゃんと、カンガルーの赤ちゃんを比べて読むことができる。

(2) 本時の展開

時間	学習内容	・指導事項 ◎豊かな表現を見取る視点	◆評価規準 ☆支援 ・指導上の留意点
導入	1 前時の振り返りを共有し、これまでに学習した観点を確認する。 2 本時のめあてを確認する。		・ライオン、しまうまで確認した観点を再度確認する。
カンガルーの赤ちゃんと、ライオンやしまうまの赤ちゃんのようすをくらべよう。			
展開	3 カンガルーの赤ちゃんについての資料を読む。 T 生まれたばかりの様子が書いてあるところは赤線、大きくなっていく様子が書いてあるところは青線で引きましょう。 4 6つの観点到に線を引く。 ①生まれたときの大きさ ②目や耳の様子 ③親の姿との比較 ④移動能力 ⑤お乳を飲む期間 ⑥自分で食べものをとって食べる時期 5 カンガルーの赤ちゃんの様子とライオンやしまうまの赤ちゃんと比べて、似ているところを探す。 6 比べて分かったことや気付いたことを、ペアから全体の順で共有する。 T カンガルーの赤ちゃんは、ライオンやしまうまの赤ちゃんと比べて、同じところや違うところがありましたか。 C カンガルーの赤ちゃんは、生まれたときは目や耳がどこにあるのか分からなくて、ライオンとしまうまとも違ってきます。 C カンガルーの赤ちゃんは、おちちを飲んだ後、草を食べるようになるところが、しまうまと同じです。	・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 【思C-(1)ア】 ・文章の中の大事な語や文を考えて選び出すこと。 【思C-(1)ウ】 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 【知-(2)ア】 ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 【思C-(1)カ】 ◎カンガルーの赤ちゃんについて読み取ったことを、ライオン、しまうまの赤ちゃんと比べ、共通、相違などに気付いているか。	◆ア-① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。【教科書、ワークシート】 ・ライオン、しまうまの時と同様に、「生まれたばかりの様子」が書いてある部分は赤線、「大きくなっていく様子」が書いてある部分は青線を引かせる。 ・話型を示し、共有しやすくする。 カンガルーの赤ちゃんは、(ライオン/しまうま)の赤ちゃんと(おなじで/にいて/ちがって)、○○○○です。 ☆C児には、「目」「耳」「おちち」「草」など、観点が分かる言葉を示す。

まとめ	7 本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。	「考えたこと」 「分かったこと」
-----	----------------------------	---------------------

(3) 授業観察の視点

- ・ 観点ごとに線を引く活動は、読み取ったことを比べる手立てになっていたか。
- ・ 話型を用いたペア学習は、考えを伝え合う手立てになっていたか。

(4) 板書計画

大きくなくていくようす:	生まれたばかりのようす:					て
たべもの	おちちをき のむ	いどうの しかた	おやと くらべて	目や耳	大きさ	ライオン
す えものをたべはじめ	生まれて二か月ぐらい	が できません	おかあさんに あまりにいていません	とじたまま	生まれたときは、 子ねこくらいの大きさ	くらべて
ちがう	ちがう	ちがう	ちがう	ちがう	生まれたときに、もう やぎぐらいの大きさ	しまうま
じぶんで草もたべるようになりす	おちちだけのんでいるのは、 たった七日ぐらいのあいだ	りすす	生まれて三十ぶんもたな いうちに、じぶんで立ち上 がります	おかあさんにそっくり	目はあいていて、耳も びんと立っています	カンガルー
じぶんで草もたべるようになりす	六か月ほど	小さなまえあして、おかあ さんのおなかにはい上が ります	はつきりわかるのは、口とま えあしだけ	どこにあるのか、まだよくわ かりません	たいへん小さくて、一円玉ぐ らいのおもさ	くらべて
① おなじ	② ちがう	③ ちがう	④ ちがう	⑤ ちがう	⑥ ちがう	⑦ ちがう

カンガルーの赤ちゃんは、
(ライオン)
(しまうま) と (おなじで)
(にいていて)
(ちがって) ○○○○です。

くらべてよもう どうぶつの赤ちゃんをつくろう
どうぶつの赤ちゃん ますい みつこ 文
つきもと かよみ え

カンガルーの赤ちゃん、ライオンやしまうまの赤ちゃんの
ようすをくらべよう。